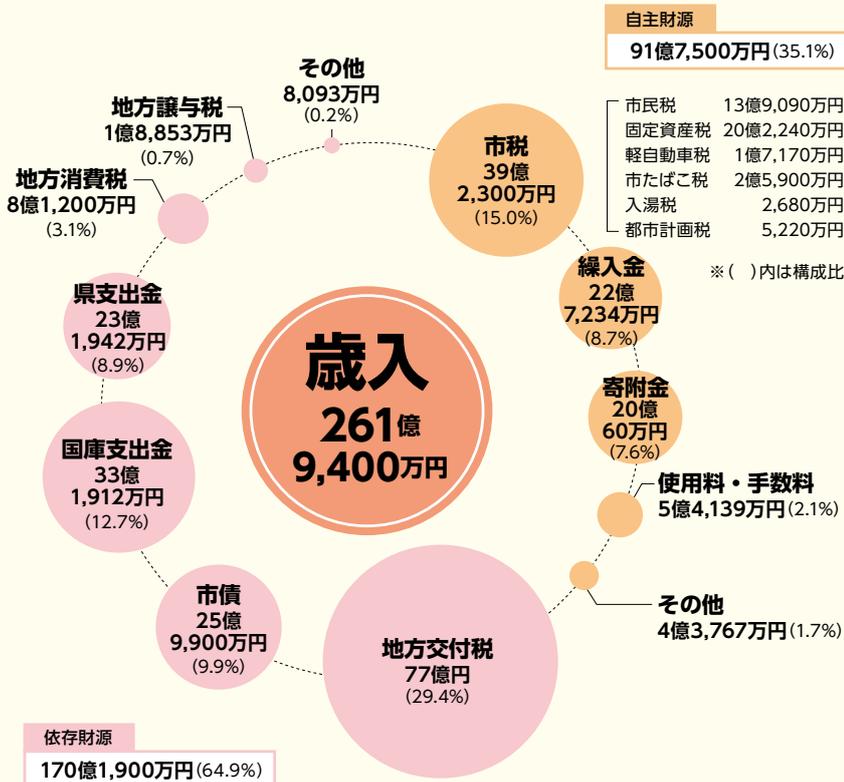


令和4年度 当初予算

一般会計 261億9,400万円

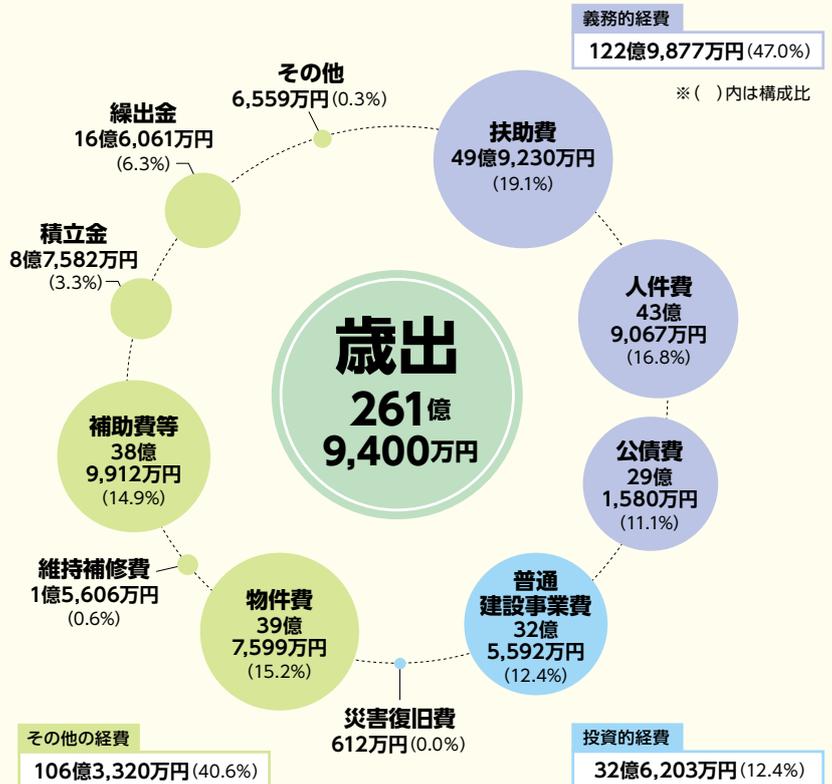


令和4年度当初予算が、指宿市議会3月定例会で審議され、3月28日に可決成立しました。

令和4年度当初予算は、経常的経費を中心とした骨格予算として編成しています。骨格予算に計上していない政策的経費などは、令和4年度の6月定例会で肉付けしていく予定です。

	前年度比
一般会計	261億9,400万円 (3.3% ↓)
特別会計	136億9,870万円 (0.9% ↑)
公営企業会計	27億9,844万円 (5.4% ↑)
合計	426億9,115万円 (1.4% ↓)

※数値は四捨五入しているため合計額は一致しません。



用語の説明

経常的経費

行政サービスを維持するために経常的に必要となる経費

政策的経費

新しく始める行政サービスや大型事業の実施など市の方向性を左右する事業の経費

骨格予算

選挙時期などの関係から政策的な判断ができにくいなどの理由により、政策的経費などの予算計上を避けて計上する予算。

自主財源

市町村が自主的に調達できる財源

依存財源

国や県の意思決定に基づいて配分される財源

義務的経費

人件費や社会保障費など、支出が義務付けられている経費

投資的経費

道路・公共施設などの新設や改修、国・県の行う公共事業負担金などの経費

その他の経費

上記の義務的・投資的経費以外の経費

指宿を必ず変える。

各会計予算額比較表

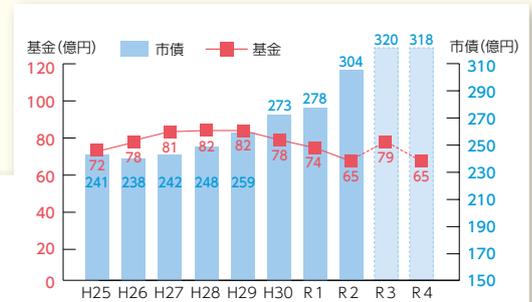
区分	令和4年度	令和3年度	前年度比	
一般会計	261億9,400万円	270億8,000万円	-3.3%	
特別会計	国民健康保険特別会計	67億6,979万円	69億5,354万円	-2.6%
	後期高齢者医療特別会計	7億9,936万円	7億3,492万円	8.8%
	介護保険特別会計	59億1,881万円	56億6,777万円	4.4%
	唐船峡そめん流し事業特別会計	2億1,075万円	2億2,601万円	-6.8%
	小計	136億9,870万円	135億8,224万円	0.9%
公営企業会計	水道事業会計	14億3,332万円	12億5,802万円	13.9%
	公共下水道事業会計	13億2,056万円	13億6,040万円	-2.9%
	温泉供給事業会計	4,456万円	3,719万円	19.8%
	小計	27億9,844万円	26億5,561万円	5.4%
合計	426億9,115万円	433億1,786万円	-1.4%	

※数値は四捨五入しているため合計額は一致しません。

基金残高（一般会計）

区分	令和4年度
財政調整基金	14億4,567万円
減債基金	16億1,344万円
その他の基金	34億3,419万円
合計	64億9,330万円

※令和5年3月末の見込み額（令和3年度決算剰余金は含まない）



貯金と借金のQ&A

Q1 市の一般会計での貯金はいくらありますか。

A1 令和3年度末で78億6,682万円、令和4年度末で64億9,330万円となる見込みです。

Q2 貯金はどのように使っていますか。

A2 一般会計の貯金の主なものとして「財政調整基金」と「減債基金」があります。財政調整基金は、必要に応じていつでも機動的に使えます。減債基金は将来の借金返済に備えられています。その他、ふるさと納税によって積み立てられるふるさと応援基金などもあり、指宿市総合振興計画に位置付けられている事業に充てられています。

Q3 これだけ借金があって大丈夫ですか。

A3 将来的にどれだけ財政を圧迫するかを示す指標である将来負担比率では、イエローカードとされる値350.0%に対して、市は49.2%となっており、県内19

市と比較すると、下位にある状況です。今後は、さらなる財政の健全化が求められるため、事業の必要性の検討を行うなど、将来の負担を抑えるよう努めていく必要があります。

Q4 なぜ借金をするのですか。

A4 大規模事業を行う場合、その年の歳入だけで賅ってしまうと、財源を圧迫し、他の事業に支障が出てしまいます。そうならないために財源を補てんする目的で借金をすることがあります。また、整備した道路や施設はその年だけではなく、長く市民の皆さんに使っていただくことになるため、あえて借金をし、複数年で返済することで世代間の不公平をなくしています。

市民1人当たりの予算 約68万3,256円(2.6%↓)

※（）内は前年度比、人口は、1月1日時点の推計人口38,337人

市民1人当たりの目的別歳出予算額は次のとおりです。農林水産業費は水産加工業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業により増加しています。教育費は、新市民会館の建設が主な要因です。衛生費は、指宿広域市町村圏組合への負担金や子宮頸がん予防ワクチン接種事業の拡充によるものです。



令和4年度 主な事業

「第二次指宿市総合振興計画」「第二期指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「豊かな資源が織りなす食と健幸のまち」の実現に向けて、市民ニーズに適切に対応した効率・効果的な事業内容となるよう、事業の重点化を図っています。

みんなで作る“人”と“環境”に やさしいまち[生活環境]

- **定住促進対策事業 630万円**
移住の下見のための交通費・宿泊費の補助や移住者の中古住宅購入や新築費用の助成などを行い、定住を促進します。
- **小型動力ポンプ軽積載車購入事業 3,336万円**
小型動力ポンプ軽積載車を購入します。



利便性に優れた快適なまち[社会基盤]

- **交通運輸事業 1,941万円**
公共交通基本計画に基づき、市内循環バスや乗り合いタクシーの運行を実施します。
- **通学路交通安全対策事業 8,550万円**
通学路交通安全プログラムにおいて要対策箇所として位置づけられた通学路の歩行空間を確保するために整備を行います。



ふるさと あす ひら 郷土を愛し未来を拓くこころ豊かな 人材をはぐくむまち[教育文化]

- **特別支援教育指導員導入事業 352万円**
特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育の専門的な知識を有する指導員を設置し、特別支援教育支援員に対して専門的な指導を行います。
- **指宿市民会館整備事業 12億9,144万円**
ふれあいプラザなのはな館の敷地内に指宿市民会館を建設中です。令和4年度完成予定。



資源と産業が結合し 湯遊と暮らせるまち[産業経済]

- **棚田地域振興事業 559万円**
指定棚田地域振興協会への運営補助や地域おこし協力隊を活用した棚田地域の振興を図ります。
- **池田湖周辺観光施設整備事業 1,983万円**
池田湖売店前に新たな観光交流施設を整備し、魅力ある観光地づくりを進めます。
- **ふるさと納税推進事業 11億5,000万円**
ふるさと納税の増額を図るため、返礼品の企画・開発や広告掲載などの事業を行います。



指宿を必ず**変**える。



市民と行政が協働で創る^{つく}活気あふれるまち [コミュニティ・協働]

- **ゆるやかにつながる小さなまち・むらづくり事業 287万円**
地域が抱えるさまざまな課題を解決することができるような地域力を創出します。
- **共生・協働推進事業、共創の場づくり事業 255万円**
市民や団体などが、共に協力し支え合う地域活動を支援します。市民が参画したまちづくりを進めていくための場づくり、環境づくりを推進します。



すべての人が健康で安心して 生き生きと暮らせるまち[保健医療福祉]

- **地域医療支援講座設置寄付事業 2,500万円**
鹿児島大学から指宿医療センターへ産科医の派遣を行います。
- **麻酔科医確保事業 740万円**
指宿医療センターの麻酔科医を確保するため、麻酔科医の派遣に要する費用の一部を助成します。
- **広域連携SIB事業 3,537万円**
市民の健康度を向上させ、医療費と介護費の減少を目指す「広域連携SIB」事業を実施します。
- **放課後児童健全育成事業 7,631万円**
適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。
- **子ども医療費助成事業 1億3,163万円**
子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進するため、医療費の自己負担分を助成します。



新型コロナウイルス 感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止、地域経済の回復に向け、以下の事業に取り組みます。

- PCR検査委託事業
- 感染症安全対策補助金（事業者向け）
- 感染症発生時消毒補助金
- 漁業共済掛金補助金
- 収入保険制度加入補助金
- 宿泊減緊急対策事業
- 緊急経営安定化助成事業
- 外国人人材受入支援事業
- プレミアム付共通商品券事業
- 地域商品活性化事業
- 特産品振興事業

基金の活用

ふるさと応援基金 6億円

ふるさと納税を財源とした「ふるさと応援基金」を活用し、次の事業などに充てています。

- 交通運輸事業費 1,750万円
- 予防接種事業費 1,600万円
- 救急医療事業費 2,430万円
- 給食費保護者負担軽減費 2,850万円
- 資源ごみ分別収集管理費 2,820万円 など

合併まちづくり基金 2億円

合併まちづくり基金を活用し、消防団員の活動費用などに充てています。

- 消防団員管理費 8,690万円
- 行政事務連絡員費 5,530万円 など